**JNFEAの活動を目の当たりにして感動**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　教育里親　永　山　洋　子

①

　2019年2月2日開催される研修会に参加してきました。JICAの「草の根技術協力事業」パートナーとして取り組んできた、**女性教師養成制度の構築を目ざすプロジェクトの**モデル地域パピルバスツの「ボールゲームを通じて、楽しく学ぼう」の２年間の成果発表会でした。ニュースレターや友人からのお話で、活動の概要はつかんでいたつもりでしたが、実際にその活動を目の当たり数々の労苦があり、かかわってきた皆さんのたゆまぬ情熱と実践力にただただ感動しました。

JNFEAの活動について、創設以来、大きな関心があり、支援を続けてきました。一度ネパールの現地に赴き、活動の一端を参観したいものと考えていました。2016年10月10周年記念式典がネパールで開催される機会に参加する予定でしたが、直前に体調を崩し、やむなく、取りやめになってしまっていました。今回やっと実現できたのです。

カトマンズからは、ネパールJICAの車に乗せていただき、カピルバスツの会場Shree JanachatanaBacic School迄移動することができました。

①少し早めに会場校に到着しましたが、すでに来校し準備のお手伝いをしている子どもたちが大歓迎してくれました。

②体育の授業がきちんと実施されていない多くの学校があるので、およそ2年間にわたって「ボールゲームを通じて楽しい学校つくり」をテーマに取り組まれてきた成果を、発表してくださいました。日本の教師から指導を受けた現地の教員が、一生懸命に指導しておりました。1年生から5年生のそれぞれの発達段階に応じたボールゲームを熱中して取り組んでいました。マナーもしっかり守り、勝敗にもこだわり、作戦を練り実に意欲的な展開でした。

③はその後の研究協議会において、感想を求められたので、日本での学校経営者としての経験を交えながら、実践の素晴らしい成果についてお話しさせていただきました。

④はカピルバスツのフィーダーホステル（1970年女子教員養成制度として設立された女性寮）を訪問し、女性たちと交流させていただきました。日本からの衣類のお土産はおしゃれをしたいお年頃なので大変喜ばれていました。主目的は、40年以上経過し、老朽化した施設設備の今後の補修プランの点検だったようです。

②

③

④

⑤

⑤全国で20か所のフィーダーホステルには、20人の女性が宿泊して、近くの学校に通学しているとのことです。寮生20人とともに、寮母、そしてJICA職員さん、JNFEAのスタッフの方々と記念撮影をしました。

背景のお家は、一見きれいに見えますが、中は暗く、机、椅子は十分になく、壁等かなり老朽化していました。

⑥カピルバスツの市庁舎を訪問しました。市長さんはじめ、教育行政関係者が集合し、JNFEAの新たな事業（会員の加藤さんが多額の遺産を寄贈）さくら寮で教員養成を行ってきたことをモデルに、カピルバスツでも、市と共同で行っていくという「覚書書」）のお話し合いでした。私は、記録を担当する羽目になりました。

⑦いわゆる公的なお仕事が終了したので、ネパールの数少ないユネスコ世界遺産のひとつ「チトワン国立公園を見学することができました。

世界的に希少な一本角のインドサイが生息することで知られています。デリカシーなサイはなかなか姿を見せてくれません。やっと遠くにみえたときには興奮してしまいました。拡大した写真です。広大なジャングルの中を象に乗って巡るサファリは、とても刺激的で、ミステリアスでした。思いの他、揺れず、ゆったりと高い象の背中での見晴らしもよかったです。

⑧帰路の車中から、クジャクの乱舞も見られました。大自然の中での絶景に思わずカメラを回しました。動画の一部を切り撮った写真です。これは現地のガイドさんも驚いていました。周辺村のタルー族の暮らしも興味深く、劇場でその文化を公開してくれました。踊りあり、歌ありで1時間ほど堪能できました。ホテルに近づくにつれ、近くのラプティ川からは鮮やかな夕日とヒマラヤの山並みも遠望できました。楽し旅を満喫することができました。

JNFEAの活動に感動しながら、、、、、、

⑥

⑦

⑧